

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会		会議場所 第1委員会室 担当職員 山末
日 時	平成30年3月9日(金曜日)		開 議 午前 10 時 00 分 閉 議 午後 1 時 08 分
出席委員	◎平本 ○富谷 酒井 小川 齊藤 菱田 小島 馬場		
理事者出席者	【市立病院】 玉井病院事業管理者、佐々木管理部長 [病院総務課] 松村課長、西田総務係長、山下主任 [医事課] 小笹課長 [経営企画室] 竹内室長 【環境市民部】 塩尻部長、吉田市民窓口・保険医療担当部長 [環境政策課] 西田課長 [市民課] 高橋課長 [保険医療課] 荻野課長、山内副課長、藤谷国保給付係長、樋口国保料係長 【健康福祉部】 栗林部長、辻村子育て支援担当部長 [地域福祉課] 佐々木課長、的場福祉総務係長 [障害福祉課] 岸田課長、木村副課長 [高齢福祉課] 広瀬課長 [健康増進課] 野々村課長 [こども未来課] 森岡課長 [保育課] 阿久根課長、大倉副課長		
事務局	片岡事務局長、鈴木議事調査係長、山末主事		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 開 議

2 事務局日程説明

3 議案審査

[理事者入室] 市立病院

(1) 第78号議案 平成29年度亀岡市病院事業会計補正予算(第2号)

<病院事業管理者>

(あいさつ)

<病院総務課長>

(概要説明)

～10:20

[質疑]

<馬場委員>

P 1 1、入院収益が3千万円の増額ということだが、ベッドの稼働率はどれぐらいか。

<病院事業管理者>

昨年度は72%の稼働率だった。今年度は2月末の時点で3月分を予測して80.5%の見込みである。3月で落ち込んだとしても80%は確保できる予定である。

<馬場委員>

P 1 2、修繕費について、410万円の内容は。

<管理部長>

血管撮影装置の管球が12月頃に切れ、それに700万円ほどかかった。その後、施設修繕などが重なったことにより補正が必要となった。

[理事者退室]

～10:22

[理事者入室] 環境市民部

(1) 第68号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

<環境市民部長>

(あいさつ)

<各課長>

(資料に基づき説明)

～10:34

[質議]

<馬場委員>

P 6～7、民生費国庫負担金について、確定に伴う減額という説明だったが、P 9では、後期高齢者医療保険基盤安定負担金が増額になっているのはなぜか。

<保険医療課長>

後期高齢者支援金分基盤安定負担金は国民健康保険になるため減額である。後期高齢者医療保険基盤安定負担金は後期高齢者医療保険であり、人数が増えているため増額する。

～10:35

(2) 第69号議案 平成29年度亀岡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

<環境市民部長>

(概要説明)

<保険医療課長>

(資料に基づき説明)

～10:46

[質疑]

<小川委員>

P20、特定健康診査等事業費について、1200万円減となっているが、受診者数が減ったからなのか。

<保険医療課長>

当初予算では、約40%の受診率を見込んでいたが、12月末現在で32.6%だった。その差額分を減額補正しようとするものである。受診期間が6月1日から10月20日までであり、その後、集団検診を11月頃まで行ったが、これでほぼ確定したため残額を計上した。

<小川委員>

PRに努められたい。要望である。

<齊藤委員>

P10、療養給付費について、薬価基準が下がってきたため減額するという説明だったが、相対的に下がっていくということか。

<保険医療課長>

特に高額な薬剤として、C型肝炎の治療薬がある。平成27年当時は1粒8万円であり、毎日飲まなければならず、それを3カ月続けると約240万円かかる。その7割の約168万円を国保が負担する形になる。それが次の年から大幅に減額されたことが大きな影響だと思っている。

～10:49

(3) 第74号議案 平成29年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

<環境市民部長>

(概要説明)

<保険医療課長>

(資料に基づき説明)

[質疑なし]

[理事者退室]

～10:52

[理事者入室] 健康福祉部

(2) 第68号議案 平成29年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<各課長>

(資料に基づき説明)

～11:16

[質疑]

<齊藤委員>

P7、保育料について、収入増のため増額ということだが、保護者の所得が上がったためか。マイナンバー制度が導入されたことと関係はあるのか。

<保育課長>

保育料は市民税の課税額で算定する。きちんと申告されて審査された課税額と認識している。所得が増えたことに加え、低年齢児が増えていることが要因と分析している。

<齊藤委員>

P 3 1、福祉タクシーは亀岡に何台あるのか。

<障害福祉課長>

業者は4社となっている。ただし福祉タクシーの利用券は、一般のタクシーも利用いただけるタクシーチケットであり、月額1千円で利用いただける。タクシーチケットを通院等に使う車の給油にも使っていただけるという制度である。

<齊藤委員>

P 3 1、地域介護基盤整備事業経費について、特別養護老人ホームのたなばたの郷が増床された件だと思うが、これは府の認可だと思う。なぜ予算が計上されていたのか。

<健康福祉部長>

広域施設である特別養護老人ホームについては、京都府の所管であり、京都府から直接補助金が入る。地域密着型については市の管轄であり、ここで職員の錯誤があった。

<菱田委員>

P 3 7、上水道事業会計繰出金出資金について、具体的な事業は。

<健康増進課長>

さまざまな設備の整備促進であると聞いている。

<菱田委員>

具体的にどの部分なのかを説明いただきたいかった。

<健康増進課長>

内容は再度確認する。

<馬場委員>

齊藤委員と関連するが、京都府の事業を市に預けていたわけではないということか。

<健康福祉部長>

職員が広域型と地域密着型を錯誤していた。

<馬場委員>

地域生活支援事業補助金等、京都府が補助金をしぶっている印象を受けるが、補助金を削減してきた経過があるのか。

<障害福祉課長>

以前から何度か説明しているが、国の補助率が50%であるにもかかわらず20数%の補助率でしか交付されていない状況がここ3、4年続いている。それに伴い、京都府からは国の補助金の半額が交付されている。意図的にはないのかもしれないが、京都府では国の補助金の半分という解釈がなされていると考えている。我々も、近畿福祉事務所長会を通して要望しているところである。また、京都府に対しても国の補助金の半分ではなく25%を交付してほしいということはたびたび要望しているが、補助率どおりの交付に至っていない。

<富谷副委員長>

P 3 3、特別保育事業経費について、基準変更によるものということだったが、基準が厳しくなったから減ったのか。対象児童が減ったからなのか。

<保育課長>

単価自体はそれほど下がっていない。実績が少なくなったことによる減額である。

<富谷副委員長>

P 3 1、障害者福祉推進事業経費、じん臓機能障害のある人の人数は。

<障害福祉課長>

手元に資料がない。

<平本委員長>

後ほど報告願いたい。

～ 1 1 : 2 6

(2) 第 7 1 号議案 平成 2 9 年度亀岡市休日診療事業特別会計補正予算 (第 1 号)

<健康増進課長>

(資料に基づき説明)

[質疑なし]

～ 1 1 : 3 0

(3) 第 7 3 号議案 平成 2 9 年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)

<高齢福祉課長>

(資料に基づき説明)

～ 1 1 : 3 8

[質疑]

<菱田委員>

P 8、介護給付費準備基金運用益金について、元金はどれぐらいあるのか。

<高齢福祉課長>

平成 2 9 年度末で 7 億 3 5 9 6 万 1 4 9 4 円である。

<菱田委員>

この基金はどのような時に使うのか。

<高齢福祉課長>

保険料がマイナスとなった場合に、この基金で補充するという形である。取り崩していなかったのがこれだけの金額が残っている。

<健康福祉部長>

この基金については、サービス給付が予想を上回り赤字になった場合に取り崩すこととなっている。7 億円以上積み立てているので、第 7 期については 5 億 4 0 0 0 万円程度取り崩す見込みで保険料を据え置く予定である。

<馬場委員>

当初予算が約 7 6 億円で、補正が約 8 億 4 5 0 0 万円という大きい補正の減額だが、当初予算の捕捉がどうだったのか。

<健康福祉部長>

介護給付と予防給付を合わせたものが標準給付費となるが、第 6 期計画に表した金額をそのまま当初予算の要求額としていた。予算に対する実績は、平成 2 7 年度は 9 3. 2 % だったが、平成 2 8 年度は 8 7. 5 %、平成 2 9 年度については 8 7. 2 % 程度に留まったので、このような大きな差が生じた。平成 3 0 年度の予算から

は、計画は計画として、実績を踏まえて予算要求していく。

<馬場委員>

包括支援センターを細かくやっていく上で、今後の見通しは。

<健康福祉部長>

亀岡市は基本的な生活圏を7圏域としていて、そこに包括支援センターは5つだった。吉川町・蔦田野町・大井町・千代川町を中部、東・西別院町と曾我部町は南部としているが、そこには包括支援センターがなく他の地域でカバーしていた。今回、曾我部町に南部の包括支援センターを、蔦田野町に中部のセンターを置かせていただく。利便性が高まり、サービスが向上すると考えている。

<障害福祉課長>

先ほどの腎機能障害の手帳所持者数だが、1月末現在で211名。じん臓機能障害により身障手帳を持つ人がいる。透析をされている方はほぼ全員に近い。傾向としては増加の一途である。

[理事者退室]

～11:44

<休憩 11:44～13:00>

<平本委員長>

討論・採決の前に、午前中の上水道事業会計繰出金の関係で、執行部から説明を受ける。

[理事者入室] 健康福祉部

<平本委員長>

午前中の追加説明を願う。

<健康増進課長>

午前中に菱田委員から質問のあった、上下水道事業会計繰出金の1080万円の減額について、上下水道部に確認したところ、曾我部町地内における上水道老朽管耐震化工事跡舗装復旧工事並びに篠町における同様の復旧工事について、入札執行による残額の減額が主なものであり、合計額として1080万円の減額となった。

[質疑なし]

[理事者退室]

～13:03

4 討論・採決

[討論なし]

[採決]

第68号議案	挙手	全員	可決
第69号議案	挙手	全員	可決

第71号議案 挙手 全員 可決
第73号議案 挙手 全員 可決
第74号議案 挙手 全員 可決
第78号議案 挙手 全員 可決

[指摘要望事項なし]

～13:05

5 陳情・要望について

(1) 臓器移植の環境整備を求める意見書の要請

<平本委員長>

どのように取り扱うか。

<齊藤委員>

聞き置く程度で。

<平本委員長>

聞き置く程度とすることに異議はないか。

(異議なし)

<平本委員長>

それでは、聞き置く程度として取り扱う。

～13:06

6 防災会議委員の選出について

<平本委員長>

事務局から説明を。

<事務局主事>

防災会議委員については、従来は議長、総務文教常任委員長、産業建設常任委員長の3人が選出されていたところだが、災害対応が複雑多様化してきたことから、今回から環境厚生常任委員長も合わせて4人の選出依頼があった。それを受け、3月7日の議会運営委員会において依頼のとおり取り扱うことを確認された。なお、各常任委員長を選出することについては各常任委員会で協議の上で決定することとされている。それらを踏まえて決定願いたい。

<平本委員長>

委員長を選出することとしてよいか。

<了>

<小川委員>

災害が多様化する中で、環境厚生常任委員会が入っていないことが不思議であった。よろしく願います。

7 その他

<平本委員長>

次回は3月12日午前10時から委員長報告の確認を行う。午後からは特別会計、条例の審査等を行う。

散会 ～13:08

